

川中先生のブログ

医者飲酒、他山の石

2014年02月14日 06時42分01秒

テーマ：日常



昨年末、安佐市民病院（広島市安佐北区可部南）の内科部長の男性医師が、酒の臭いがする状態で診療を繰り返し、同病院の聴取を受けた後、10月末で依願退職したことが報道されました。

この医師の行為は許されないものですが、医者と言う職業はストレスが強いので、昔から酒飲みの医者は多いようです。また、勤務医、特に外科医はチームワークですから、お互いの親睦のため飲む機会も多いです。また、若い医者は、勤務状態もきつくストレスが溜まりますし、仕事の区切りがついたときは、下のものだけで集まって飲む機会も多かったです。

酒の上での失敗もある私は、人のことをとやかく言える立場ではありません。ただ、マスコミの報道は、このような事件の報道ばかりで、人に厳しく、人を咎めるニュースばかりです。世の中には善意の人、模範とすべき立派な生活を

送っている人も大勢居るはずですが、そのようなことを知りたいのですが、そういう報道は無いですね。

世の中の風潮も他人のアラ探し、他人を責めて自己を正当化するそんな風潮です。自分自身が、いつ何時どんな過ちを犯すか分からない身でしかありません。他人の過ちにもっと寛容な世の中であって欲しいと思います。人の咎を責めるより、わが身を振り返って他山の石とする気持ちを忘れないようにしたいと思います。